

特色1

「調べて、考えたくなる」教科書

1 「社会的な見方・考え方」を 働かせた問題解決的な学習

「社会的な見方・考え方」(視点や方法)と問い合わせの例

◆位置や空間的な広がり

＜問い合わせの例＞

- ・どのような場所にあるか
- ・どのように広がっているか
- など、分布、地域、範囲などを問う視点を提示しています。



◆事象や人々の相互関係

＜問い合わせの例＞

- ・どのようなつながりがあるか
- ・なぜこのような協力が必要か
- など、工夫、関わり、協力などを問う視点を提示しています。



◆時期や時間の経過

＜問い合わせの例＞

- ・なぜ始まったのか
- ・どのように変わってきたのか
- など、起源、変化、継承などを問う視点を提示しています。



◆比較・分類、総合、関連付けなど

- ・比較・分類
- ・総合
- ・関連付け
- など、さまざまな考え方(方法)を提示しています。



「ドラえもん」のイラストの種類によって、「見方・考え方」が一目でわかります

古くからのこるたて
物は、市のどのあたりに集まっているかな。

3年 P.29

5年下 P.82

太鼓祭りは、いつごろからさかんになったのかな。

4年 P.109

観光客が少ない季節には、どのようにふうをしているのかな。

5年上 P.59

学習したことを総合して、どのような情報が、どのような場面で生かされているかを関係図にまとめてみよう。



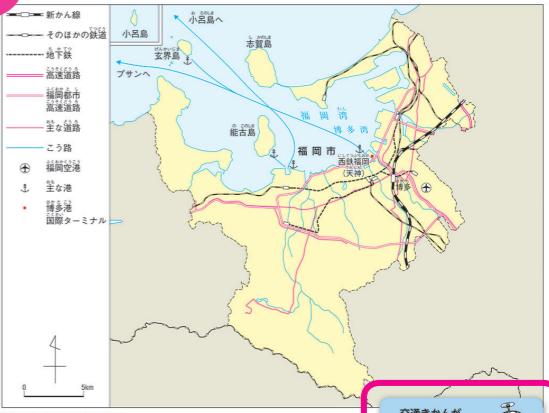
6年政治・国際編 P.49

市と県、国は、どのように協力したのかな。



鎖国のもとで貿易を行っていたのは、どのような場所だったのかな。

紙面ではこのように示しています



⑤福岡市の交通の広がり
「先週の日曜日に、福岡空港駅行きの地下鉄で天神のデパートに行きました。終点は、福岡空港でした。」「博多や天神に大きな物や店が多いのは、大きな駅の近くなので交通が便利で、たくさんの方が集まっているからだと思います。」



●

3年 P.24-25

位置や空間的な広がり

市の交通機関の分布に着目させ、市の交通の広がりを理解できるようにしています。

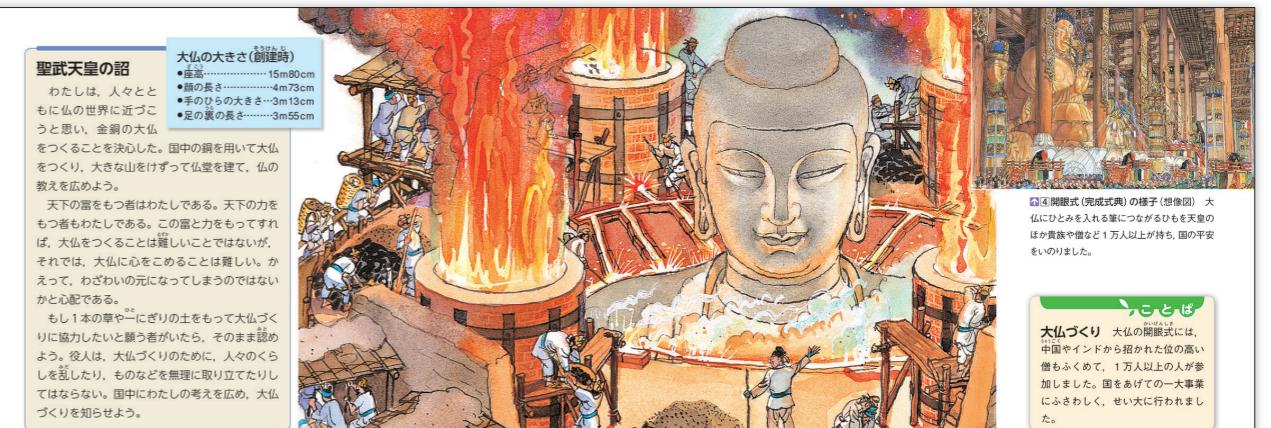
◆調べる

福岡市の交通は、どのように広がっているのでしょうか。

ことば
交通
人々が行き来することを交通といいます。人々のりょうや、道路や鉄道がどこを通っているかなど、交通の様子に注意して調べると、その場所の人や物の動きがわかります。

地図や写真を見て、市の交通の様子を調べてみよう。
道路や鉄道がどこを通っているか話し合おう。
市の交通の様子について、わかったことをまとめよう。

24



聖武天皇の詔
わたしは、人々とともに仏の世界に近づこううと思ふ。金銅の大仏をつくることを決心した。國中の銅を用いて大仏をつくり、大きな山を削ぎて仏堂を建て、仏の教えを広めよう。

天下の富をもつ者はわたしである。天下の力をもつ者もわたしである。この富と力をもってすれば、大仏をつくることは難しいことではないが、それでも、大仏に心をこめるることは難しい。かえて、わざわざの元になってしまふのではないかと思ふ。もし1本の草や一にぎりの土をもって大仏づくりに協力したいと願う者がいたら、そのまま認めよう。役人は、大仏づくりのために、人々のくらしを乱したり、ものなど無理に取り立てたりしてはならない。國中にわしの考えを広め、大仏づくりを知らせよう。

④大仏づくりの様子(想像図)

⑤開眼式(完成式典)の様子(想像図)

●

25

◆調べる

聖武天皇の大仏づくりは、どのように進められたのでしょうか。

②行基
みやこ 6
水とい 3
地 6
道 1
船の港 2
雷治所 9

③行基が墓の周囲で進めた土工事
大仏をつくる 743年、聖武天皇は、大仏をつくる詔(天皇の命令)を出しました。それは、世界を仏の光で照らすことを願い、金銅の大仏を多くの人たちの協力を集めてつくるという命令で、大仏は、全国の国分寺の中心である東大寺に置かれました。大仏づくりを主に支えたのは、全国から集められた農民などの人々でした。

詔が出された後、僧の行基は、弟子たちとともに人々によりかけ、大仏づくりに協力しました。行基は、人々のために橋や道、池や水路などをつくりながら仏教を広めていたので、「菩薩」とよばれ、したわれていたのです。行基の協力は、人々の力を集めるうえで大きな力になりました。

●

31

◆調べる

大仏づくりにおける人々の協力に着目させ、多くの人がさまざまな役割を果たしたことを理解できるようにしています。

●

6年歴史編 P.30-31

●

31

2 問題解決的な学習を促す「学習の進め方」

各学年の最初の単元に、問題解決的な学習の進め方を見開きで例示しています。定評ある「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階をたどりながら、「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習の進め方を、具体的に示しています。

学習の進め方

本時のめあて

各見開きの左ページ側注に「本時のめあて」を明示することで、課題意識をもって学習に取り組むことができます。

主体的な学びを意識した つかむ

各小単元では、課題意識を高め、見通しをもって問題解決的な学習に取り組むことができるよう、「学習計画を立てる」場面を重視しました。

深い学びにつながる「社会的な見方・考え方」

「見方・考え方」を働かせて問題解決的な学習を進めることで深い学びを実現します。

学習問題をつくり、学習の進め方をかくにんしよう。

つかむ

気づいたことやぎもんに思ったことをみんなで話し合い、学習問題をつくる。

みんなでつくった学習問題

学習問題

わたしたちの市は、どのような様子なのでしょうか。

学習問題について予想しよう

- 自然が多い山の方は、土地が高くなっているのではないか。
- ひくい土地と高い土地では、使われ方にちがいがあるのではないか。
- 電車、地下鉄、新幹線のほかに、船もあるのではないか。
- 公共しせつは、暮らしを助けるはたらきをしているのではないか。
- 福岡城のあとがあるから、古い神社やお寺もあちこちにあると思う。

調べること

- 土地の高さや広がり
- 土地の使われ方
- 交通の様子(電車やバス、船、道路、空港)
- 市役所などの公共しせつの場所とはたらき
- 古くからのこるたて物

活用のポイント

△ 広がり

- どのように広がっているのかな。

△ 時間

- どのようにかわってきたのかな。

△ 関係するところ

- どのようなつながりがあるのかな。

△ くらべる、分ける、まとめる、つなげる

- いろいろな方法で考えてみよう。

このマークを活用して社会科の学習を進めよう。

福岡市は、どこに位置しているのかな。

ドラえもんが
目じるしです。

学習問題について追究する 調べる

「調べる」段階では、対話的な学習など、さまざまな学習の方法を提示しています。

調べる

いろいろな方法で、調べよう。

調べ方

みんなで協力して調べよう。

- じっさいに行って調べる(見学、かんさつ、体けん、インタビューなど)。

- 手紙を書いて、ほかの学校や市役所の人などにしつもんする。

- 図書館をりょうしてしりょうを集める。

- インターネットを使ってしりょうを集める。

ふり返ろう

- 学習内しようをふり返り、それぞれの時間で、調べたことを整理しよう。

いかす

学習したことを次の学習や生活にいかそう。

対話的な学びをさまざまな場面で提示

児童相互の話し合いや討論の場面を積極的に提示し、多様な視点を身につけ、多角的に考えられるようにしています。

まとめる

わかったことや考えたことをまとめよう。

- 調べてわかったことや考えたことをまとめてみよう。
- 友だちと話し合ったり、まとめたりするときには、教科書の「まとめる」をヒントにしよう。

まとめ方

- 学習問題について調べたことを、ノートやカード、表などにまとめよう。
- 調べてわかったことをもとに、考えたことも書くようしよう。

ふり返ろう

- 自分の調べ方と友だちの調べ方をくらべてみよう。
- 自分の予想がどうだったか、たしかめてみよつ。
- よりよい調べ方やまとめ方について考えてみよう。

学習したことを整理・考察する まとめる

小単元ごとに「まとめる」段階を設け、多様な表現活動を提示しています。

学びのふり返りを重視

1時間ごと、小単元ごとの「ふり返る」場面を大切にしています。また、学習内容だけではなく、調べ方やまとめ方についてのふり返りも促しています。

社会的な事柄に参画・提案する いかす

「いかす」段階では、新学習指導要領をふまえ、自分たちにできることなどを考えたり、選択・判断したりする場面を充実させました。

18

「学習の進め方をたしかめよう」

国語「図書館の使い方」

19

学習の進め方

3年 P.18-19

5

